

発達人間学関係者の皆様

令和3年3月
『発達人間学論叢』編集委員会
(担当：石橋 正浩)

発達人間学論叢 第23・24・25巻合併号（最終巻）
ご寄稿のご案内

謹啓 平素は本学の教育研究活動に多大なるご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。

『発達人間学論叢』につきまして、平成29年における学部の改組（教養学科→教育協働学科）後も発行を続けておりましたがここ2年は皆様からのご投稿もなく、教員の側でも発行に必要な各種のコストを捻出することがだんだんと困難になり、ここ2年は刊行できていない状況です。さらには令和3年度からの大学院改組にともない、健康科学専攻発達人間学分野も在籍者がいなくなった時点で閉じることとなります。また新崎先生が令和4年3月末に特任教授をご退職の予定であり、発達人間学を知る教員が石橋だけとなる予定です。

このような状況を鑑み、残念ではありますが、この機会に『発達人間学論叢』の最終巻を発行し、発達人間学としてのいったんのけじめをつけたいと考える所存です。

特集としまして、新崎先生のご退職記念企画として、とりわけ福祉分野でご活躍されている卒業生・修了生及び関係者からのご投稿を広く募りたく存じます。テーマは特に絞りません。

もう一つの特集としましては、『発達人間学と私』として、卒業生や修了生の方々からのご寄稿を広く募りたいと思います。今考えると自分にとって発達人間学はどのようなものだったか、現在のご活躍の状況をふりかえると発達人間学はどのような位置にあると考えられるだろうか、といった内容の論考や随想をご寄稿いただけるとありがたく存じます。論文形式でなくても大丈夫です。

また、通常のご投稿も歓迎いたします。「発達人間学」にかかわると考えられる内容であれば、テーマは自由です。

毎年の編集後記に書いてまいりましたように、内容や形式につきましてはかなり融通の効く媒体です。ただし個人情報の保護・秘匿など、必要な倫理的配慮をお願いいたします（本誌は国会図書館にも納めており、誰でも閲覧しようと思えばできる状況にあります。またCiNiiなどのデータベースにも収録されています）。

ご原稿の締め切りはいちおう9月末とさせていただきます。ご寄稿をご検討くださる場合は、まずは新崎先生か石橋にご連絡ください。メールアドレスは大阪教育大学の教員総覧から検索してください。書けるかどうか心配だという方も、必要なサポートはしますので、まずはご相談ください。

以上、よろしく願いいたします。

謹白